

コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当り11.7人と増加しています。安芸区21.5人、安佐北区20.3人と特に多く、佐伯区13.3人、中区12.0人、西区10.7人となっています。

2. RSウイルス感染症

定点当り1.13人と急増しています。流行期をむかえて注意が必要です。

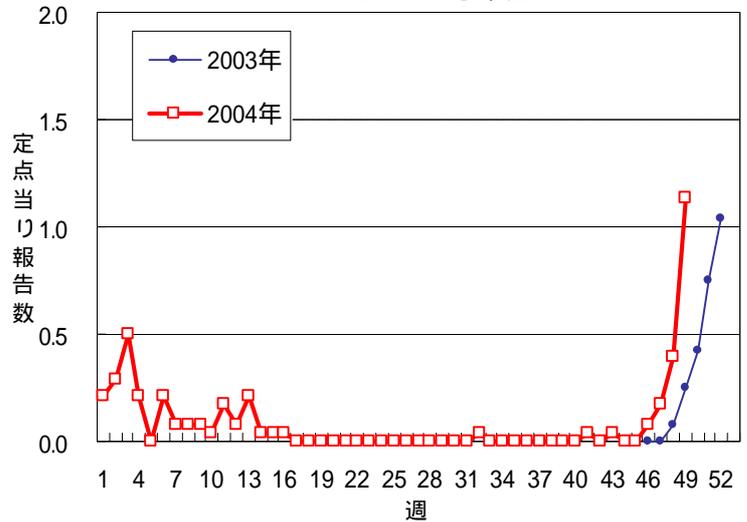
3. 流行性耳下腺炎

定点当り1.54人と急増しています。西区では6.0人と特に多くなっています。

4. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り1.67人とやや増加しています。安芸区では4.0人と特に多く、東区3.0人、安佐北区2.3人、中区2.0人となっています。

RSウイルス感染症



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 過去4年間 (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 過去4年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	2	0.05	0.65		麻疹(注3)	-	-	0.03	
咽頭結膜熱	1	0.04	0.15		流行性耳下腺炎	37	1.54	0.90	↑
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40	1.67	1.80	↗	RSウイルス感染症	27	1.13		↑
感染性胃腸炎	281	11.71	14.67	↗	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	52	2.17	3.03	↗	流行性角結膜炎	5	0.63	1.22	
手足口病	9	0.38	0.43		細菌性髄膜炎	-	-	0.04	
伝染性紅斑	6	0.25	0.21		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.14	
突発性発疹	19	0.79	0.94		マイコプラズマ肺炎	5	0.71	0.61	
百日咳	4	0.17	0.02		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風疹	-	-	0.02		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	0.05						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1.1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)  
小児科定点数 24  
眼科定点数 8  
性感染症定点数 9  
基幹定点数 7

(注1) 過去4年間の同時期平均 (定点当り)  
(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く  
(注3) 成人麻疹を除く  
(注4) オウム病を除く

1類 ~ 5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	47	男性(10歳未満)・O26 (市外)
5	後天性免疫不全症候群	1	20	男性(30歳代)・無症候性キャリア
5	梅毒	1	6	男性(40歳代)

## 5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

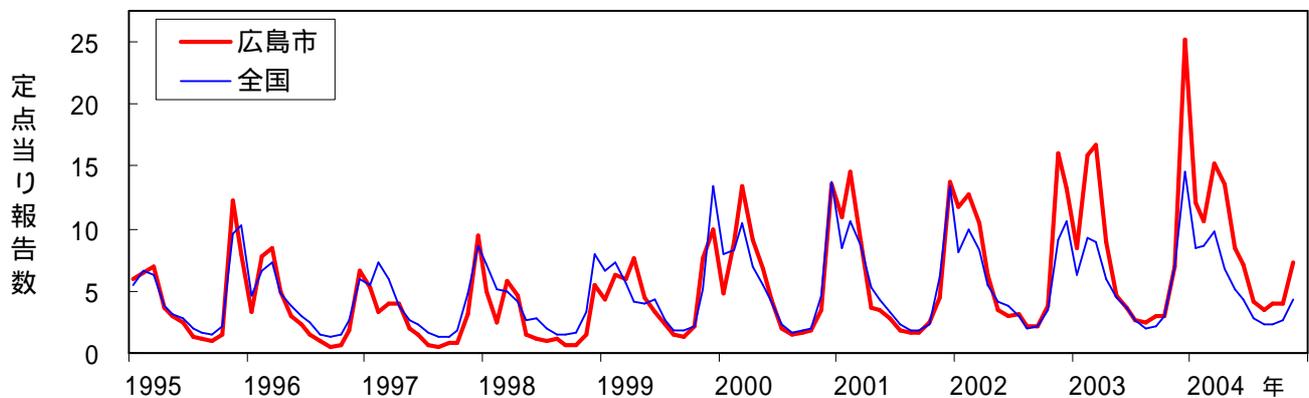
報告数	広島市	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
報告数	広島市	-	2	22	129	24	8	3	17	2	-	-	-	19	-	-	6	-	1	1	-	-
		-	3	29	203	30	4	3	12	1	-	-	-	21	2	-	8	1	-	2	-	-
		1	2	33	191	33	18	4	13	2	-	3	-	28	4	-	4	1	-	3	-	-
		-	-	29	166	38	8	6	21	3	-	4	-	17	9	-	6	-	-	3	-	-
		2	1	40	281	52	9	6	19	4	-	-	-	37	27	-	5	-	1	5	-	-
定点当り	広島市	-	0.08	0.92	5.38	1.00	0.33	0.13	0.71	0.08	-	-	-	0.79	-	-	0.75	-	0.14	0.14	-	-
		-	0.13	1.21	8.46	1.25	0.17	0.13	0.50	0.04	-	-	-	0.88	0.08	-	1.00	0.14	-	0.29	-	-
		0.03	0.08	1.38	7.96	1.38	0.75	0.17	0.54	0.08	-	0.13	-	1.17	0.17	-	0.50	0.14	-	0.43	-	-
		-	-	1.26	7.22	1.65	0.35	0.26	0.91	0.13	-	0.17	-	0.74	0.39	-	0.75	-	-	0.43	-	-
		0.05	0.04	1.67	11.71	2.17	0.38	0.25	0.79	0.17	-	-	-	1.54	1.13	-	0.63	-	0.14	0.71	-	-
全国	第47週	0.06	0.17	1.19	4.77	1.29	0.89	0.16	0.70	0.02	0.01	0.08	-	1.05	-	0.01	0.65	0.01	0.02	0.36	0.02	-
	第48週	0.10	0.19	1.12	5.62	1.42	0.86	0.19	0.66	0.02	-	0.09	-	0.99	-	0.03	0.64	0.01	0.02	0.41	0.02	-

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

## 新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
ウイルス感染症	1	女	2004/10/13	咽頭拭い液	アデノウイルス2型

## 【参考】広島市における感染性胃腸炎の月別定点当り報告数(1週当り平均)の推移 (1995年1月～2004年11月)



広島市における感染性胃腸炎は、過去10年間の定点当り報告数の推移をみると、2000年以降やや増加傾向となっておりますが、特に2003年、2004年は、全国と比べて多い状態で推移しています。

例年冬期に報告数が増加し、12月と次の年の2月ごろの2回流行のピークをむかえる傾向にあります。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail [eiken@city.hiroshima.jp](mailto:eiken@city.hiroshima.jp)

2004年第49週(11月29日～12月5日)